

INACHO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：中川博夫 副会長：唐澤千明 幹事：池上幸平



2015-2016 国際ロータリーのテーマ
世界へのプレゼントになろう
 Be a gift to the world
世界へのプレゼントになろう

2015-2016 RI会長
 K.R.“ラビ”ラビンドラン
 スリランカ



第1355回 例会 平成28年5月17日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 伊那中央ロータリー讃歌 池田幸平ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介 (株)アイスク 加藤さや香様



■ 会長談話 中川博夫会長



先日は地区の要請により熊本地震義捐金募金をしました。皆さんも様々なところからの義捐金・寄付金要請に協力する中で、ロータリーの義捐金にもご協力いただきありがとうございました。

被害の状況を見聞きすると何とか協力したいというのが人情ですが、義捐金と支援金、寄付金の違いをご存知ですか？ 今後の参考にしてください。

義捐金は被災者に直接渡るお金であり、他には流用できないことになっています。ですから、義捐金分配にかかる事務経費、ボランティア活動への支援金、インフラの整備には回りません。但し、政府が「災害救助法」を適用した地域に限定されますので、今回の場合は、大分県の被災者には渡りません。そして、被害の状況に応じて公平に分配しなくてはならないので時間がかかります。新潟中越地震では最終的に3年かかったといわれています。今回は、5月2日現在集まった義捐金52億円の13%を1次配分金として被災者・その遺族に渡ることが決まったと報道されていました。全壊世帯20万円、半壊10万円、重傷者2万円だそうです。

それでは支援金とはというと、被災地のニーズに対して、各機関、NPO、ボランティア団体が緊急支援や復興事業などに役立てるお金です。用途は各団体に任せられ、物資の調達・分配、スタッフ旅費などの経費も含まれますが、被災者への迅速な支援ができるということです。ほとんどの団体が活動内容・収支報告書を公開しているので、活動状況により支援したらよいと思います。

寄付金は、被災した自治体が集めるお金で、学校や道路などのインフラ復興事業を中心に使われます。今回は望月ガバナー名で「平成28年熊本地震義捐金の件」のタイトルで要請があり、R I 2720地区「熊本地震総合支援室」へ送金されるそうですが、集めるほうは義捐金、受け取る側が支援室。単に言葉の違いですが、一体何に使うのでしょうか？ 今後の寄付・募金要請については、キチンと用途を聞いてから皆さんにお願いしなくてはと反省しています。

■ ニコニコボックス

- ◆中川博夫 加藤さん、今日も楽しい講座をよろしくお願ひします。
- ◆池上幸平 久しぶりの雨が降りました。ちょうど昨日芝をはり、とても良い天気だと思ひましたが、もうやんでしまいました。残念！
- ◆伊澤和男 次年度という言葉が沢山出てくるようになりました。お世話になります。是非よろしくお願ひします。
- ◆市川修次 岐阜清流マラソンへ行って来ました。暑くて参りましたが、高橋尚子と野口みずぎとハイタッチ目指して頑張ってきました。
- ◆唐澤稔 久しぶりの出席。ご迷惑を掛けます。

■ 幹事報告

池上幸平幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・5月12日(木)伊那西IAC特別例会(新入会員の紹介)の報告 矢野昌史青少年奉仕委員長



- ・新1年生クラブ員は18名入会。合計49名。
- ・18名全員から一人ずつ自己紹介と目標を発表していただいた。
- ・ロータリーアン一人一人が激励の言葉を贈った。

出席：池上、熊谷、下井、伊澤、唐澤(稔)、矢野

■ 出席報告

会員数38名 出席免除会員7名 長欠会員2名 本日出席者23名 事前メイク3名
出席率78.79% 前回出席率 修正なし

■ 卓話

(株)アイスク 加藤さや香様

前回の講座が大変好評でしたので、3月に引続き加藤先生に「健康維持」のための体操を教えていただきました。



■ 点 鐘

13:30

次回例会
5月24日(火) 点鐘 18:30 場所 海老屋料理店
伊那RCとの合同夜間例会